

最終プレゼンテーション

JAPAN 320S

— トレバー
ジョン
アイゼヤ
デージャー
服部 剛史

活動内容

Lesson 1: 簡単な挨拶と色

Lesson2: 色と日本の文化(赤・青・緑・黒)

Lesson 3: 日本の主要地方と特徴①

Lesson 4: 日本の主要地方と特徴②

Lesson 5: 日本の主要地方と特徴③

Lesson 6: 日本の食文化(説明)

Lesson 7: 日本の食文化(実践)

Lesson 8 : 自己紹介(名前と挨拶)

Lesson 9: これまでのまとめ

[これまでの活動の目的と結果]

これまでの活動では、一つのテーマ(日本の地域と食文化)に的を絞り、様々な視点で日本の文化と言語について指導してきました。何度も繰り返して復習を授業の冒頭に取り組むことで、生徒たちの理解度が増すとともに、新たなものへの興味もわいてきたのではないかと思います。

KWL (*Known Want to know and Leaned*)

「目的」

初回の授業で生徒たちに「日本について知っていること」と「授業の中で何が知りたいのか」ということを聞き、彼らの興味に合わせて授業を計画していく。

「結果」

Highland Elementary School:

教えたことのみを着実に理解していた

☞ 着実に生徒たちの日本の文化に対する知識は増えた

Day Ray Woods Elementary School:

指導していないものも興味を持ち、自ら調べるようになった。

☞ 日本の文化により興味を持ってくれた。

ハイランド

デルレイウツズ

K	W	L
<ul style="list-style-type: none"> • Eat Sushi and Rice • Giant Buildings • Speak Japanese • Flag is Red and white • Watashi wa = I am • 5 = Go • Use chopsticks • Tokyo is in Japan • Bad to stab with chopsticks = funeral 	<ul style="list-style-type: none"> • What do they use for phones in Japan? • Who discovered Japan? • How do you say Thank you in Japanese? • Who is the emperor of Japan? • Famous events in Japan • Japanese Funerals • Why does Japan like rice? • Do they eat candy? • Who makes the food in Japan? • Are Japanese food and Chinese food the same? • Why do they eat with chopsticks? <p>History, Food, Writing Nature, Holidays, Festivals</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Monjayaki • Onigiri to ^{おにぎり} • Color/numbers • Islands • Konnichiwa • Tattekudasa • Hoichi • Kushi (Hot Food) • Melon Pan • Shokupan • Bowing History • Samurai • Nanzen Buddha • Fakuoka

K	W	L
<ul style="list-style-type: none"> • Teru Teru Boushi • Anime • Manga • Arigatou • Origami • Sushi • Mochi 	<ul style="list-style-type: none"> • Fashion • Food • Make Onigiri • Hairstyle • Using chopsticks • What they sell • Jewelry • Japanese • Nature • Art • Movies • Phones • Cars • Currency 	<ul style="list-style-type: none"> • They call it Take-away • "states" are different • Colors • Japanese • Sushi • Anime • Numbers • Pokemon • Hello Kitty • Snow sculptures • Onigiri, Monjayaki • Wasabi • Sakura • Spicy Food (Chili) • Shoes • Noodles • Candy • Ramen



Outcome 1 : Self and Social Awareness

トレバー:誰でも日本語や日本文化を学ぶ機会が平等にある。自分は日本語を学ぶことに自信を持つことのきっかけになると思う。

ジョン:私たちのレッスンを教える方法は、クラスの全員が読み書きできることをある程度想定していたが、事実は違った。そして、誰もがより平等に参加できるように、レッスンの教え方を調整する必要があった。

タケシ:私たちはある程度日本の文化についての前提知識があるものだと思っていたが、実際は日本と中国、韓国の違いについて理解していない生徒も多かった。

アイゼヤ:社会の集団において、個人というものはみな平等に評価され、自分自身を向上させる方法を知るというのは、社会の一員になった結果として起こるものであると思う。

デーイージェー:役割モデルと機会を作ること



Outcome 2: Service and Social Responsibility

トレバー:子供達の生活でこの役割をした人が多分いなかったのだからなるべく失敗しなく、誤解させないようにするためには必死に大事だと思った。

ジョン:子供たちのために毎週そこにいることが重要だった。私たちが彼らのためにそこにいたことを、私たちの行動を通して子供たちに示すことが重要だった。私

タケン:子供たちを教育していく大変さに気づいた。子供たちは周りに大きく影響されやすいため、簡単に誤解を招いてしまう可能性がある。

アイゼヤ:個人的な活動とグループの活動には関係性があり、私たちがともにコミュニティーを作っているということを認識すべきであると思いました。

デーイージャー:僕たちの責任



Outcome 3: Community and Social Justice

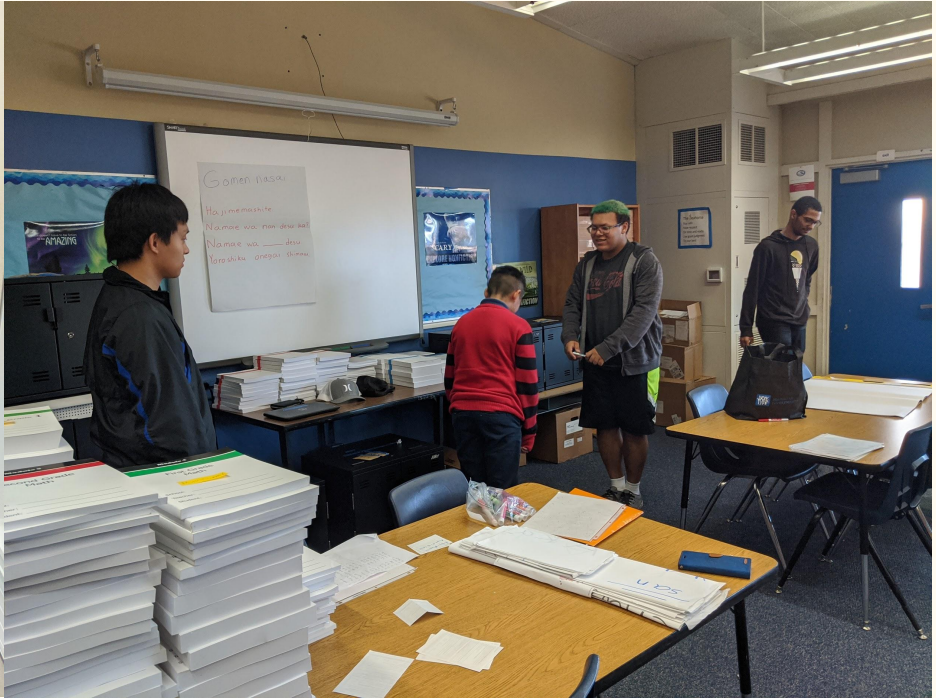
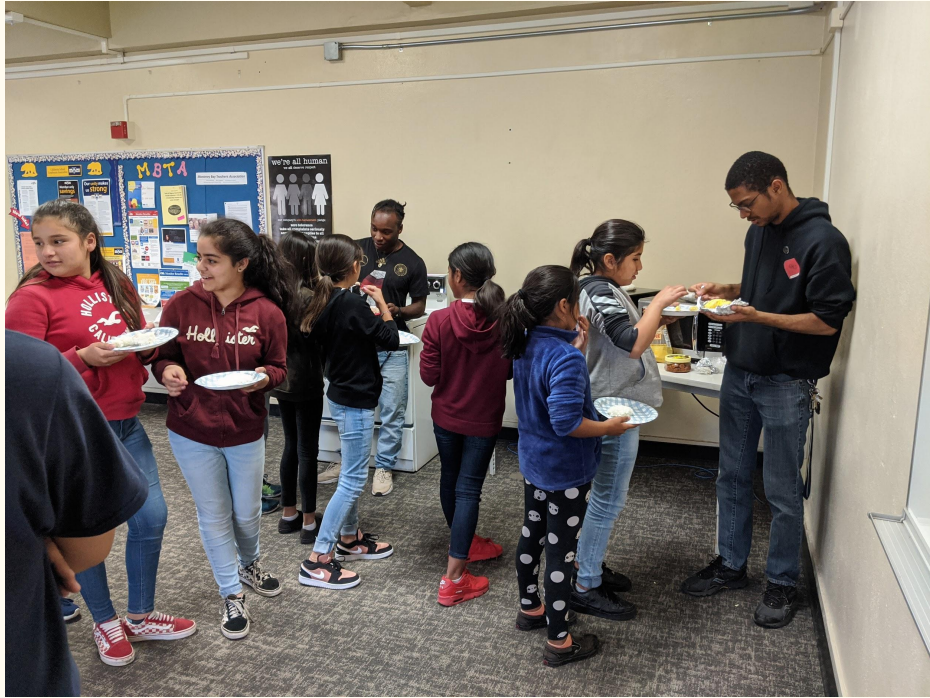
トレバー:多くの生徒は英語が上手くなくても別の言語か知識で力を持っているということをしてできる限り伝えたかった。

ジョン:クラスの中には様々な学年がいたため、彼らの学習能力と興味が異なった。この差を埋めるために年長が子供たちをリードするアクティビティーを取り入れた。

タケシ:グループ活動を通して、生徒たち学ぶ権利はみな平等にあるということを与え、彼らに学習能力にも違いがあるということを暗示した。とに気づいた

アイゼヤ:2つの地域によって識字率の差が大きいというこ

デージャー:気づくと行動する



Outcome 4: Multicultural Community Building/Civic Engagement

トレバー:この学校はシーサイドとの関係の証拠として使い、どこでもでサービスマーケティングについて話し、なぜこのコミュニティの長所になると説明する。

ジョン:私たちが最初にそこに着いたとき、多くの子供たちは彼らのコミュニティ以外の何かに慣れていなかった。アジアのすべてが中国にあるのではないことを子供たちが知るのを助けた。

タケン:子供たちの多くは日本と中国、韓国の違いについての理解が乏しかった。それらの違いを説明することで、アジアという地域にも複数の国があり、文化が入り混じっていることを伝えた。

アイゼヤ:私達は教室でコミュニティを作るので私達は子供達にコミュニティを作ることで、教室の外でも学ぶ機会を与えることができます。自分の目的は子供たちがほかの人の違いを受け入れ、私達も同じように違いを受け入れることができる。

デーイージャー:僕たちから世界に



アクションピース

1. 日本の映画やアニメ(ジブリなど)を見せ、彼らの日本に対する興味を継続させる。
2. 地域のイベントに参加してもらおう(コミュニティーに住んでいる人が対象)
3. 地域のイベントに参加する(私たち)

シーユー アゲン

